

One for all, All for one

第21号
平成31年3月5日発行

寒さも日に日に穏やかなものとなり、いよいよ3月、1年間のまとめの月がやってきました。1年生にとっては、今年度のゴールへ向けて1年間を振り返る、かけがえのない時間になります。子供たちのさらなる自立へ向け、教職員も精一杯努力をしていきます。

【進路ガイダンスについて】

2月27日（水）には、各自の職業意識ならびに進学意識を高め、今後の学校生活における具体的な進路目標の設定とそれを実現するための行動目標を設定するために、進路ガイダンスが実施されました。平成29年度卒業生講話では、10名の卒業生（就職5名、進学5名）を講師に招き、進路選択時の苦労話や進学先を決めた理由について話をしてもらいました。また、卒業生講話の後は、「就職希望」「進学希望」「公務員希望」それぞれの分野に分かれて、この時期に考えておくべきことや準備しておくべきことについて、講話がありました。子供たちは各自メモをとるなどしながら、一人一人が「納得のいく進路選択」につなげるよう、有意義な時間を過ごしました。



就職した先輩からの講話



進学した先輩からの講話

【みやぎ鎮魂の日について】

3月11日は2013年に宮城県の条例に定められた「みやぎ鎮魂の日」です。県内の高校や特別支援学校の子供たちが慰霊行事に参加できるよう、休みになります（小中学校については各教委の判断になります）。以下は宮城県から出された『「みやぎ鎮魂の日」のお知らせ (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syoubou/tinkon.html>)』を抜粋したものです。趣旨を理解した上で、震災により犠牲となられた方々のご冥福を祈り、黙とうを捧げてもらえればと思います。

宮城県では、東日本大震災で亡くなられた方々に追悼の意を表し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えるとともに、震災からの復興を誓う日として、「みやぎ鎮魂の日を定める条例」を制定し、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めています。

震災から8年となる今年の「みやぎ鎮魂の日」を迎えるにあたり、県民の皆さんには「みやぎ鎮魂の日」を定めた趣旨をご理解いただきますとともに、県内各地で行われる各種の取組にご協力くださいますようお願いいたします。

【今後の主な予定（１学年関係）】

３月 ６日（水）家庭学習日（～１４日） ※期間中は学年から課題が出されます。

１１日（月）みやぎ鎮魂の日

１５日（金）特編３時間授業（～２０日）

２０日（水）機械科現場見学（花壇自動車大学校）

２２日（金）修業式、成績票配布、大掃除、机椅子移動

１Ｆ選択教室で副教材販売（２８日予備日、それ以降は書店で購入）

２７日（水）生徒会幹部講習会

吉岡「ファッションハウス真美」で新２年生教科書販売（２９日予備日）

※教科書および副教材は、後日配布される「購入表」をもって購入することになります。販売価格は、購入表でご確認ください。

２８日（木）離任式（９：００登校）

新クラス名簿発表

新２年生個人写真撮影（写真撮影後、下足用ロッカーの移動）

【学年主任として思うこと】

今回テーマは、子供への効果的な関わり方についてです。

お子さんにとって、最も安心できる場所は家庭です。家族とともに安心して過ごしたいという気持ちは、子供なら（あるいは大人でも）誰もが持つ感情です。その家族に認められ、愛され、受け入れられ、後押ししてもらえたら、子供は勇気を持って社会への自立を果たせると思います。難しいことを短期間に一生懸命するのではなく、親子の当たり前のコミュニケーションを日常的に行うことこそが、子供たちの自立につながる最大の支援になり得ることでしょう。子供にとって困ったことや、苦しいことが起きた時、家庭が安全地帯になることが大切です。その結果、学校に行きたくないということもあることでしょう。どんな子供にも起こり得ることだからこそ、学校と手を取り合い、協力してお子さんに関わっていきましょう。今後もこれまで同様、お子さんの心に寄り添った親子の関わりをよろしくお願いします。



確認！「聴く」「話す」関わりのポイント

【良い聴き方のポイント】

- 1 相手の話を最後まで聴く
→大人の考えや意見は不要です。
- 2 本当に伝えたいことをつかまえる
→そのために「質問」します。
- 3 気持ちをそのまま受け止める
→否定せず、ありのままを。
- 4 判断・評価より「共感」
→相づち、うなづきは効果的です。

【子供の心を折る話し言葉】

- ・でも……………「でも、そんなの間違ってるよ」
- ・だけど……………「だけど〇〇ちゃんの場合は…」
- ・だから……………「だから言ったでしょう」
- ・いったい……………「いったい何時だと思ってるの」
- ・そんなこと…「そんなことも分からないの」
- ・いつも……………「いつもそうやって…」
- ・どうせ……………「どうせできないよ」

※ ２０１８年度も残り僅かとなりました。家庭で過ごす時間も有意義にお過ごしください。